



洗濯機用 混合栓

取扱説明書

使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、洗濯機用混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

注意 気をつけていただきたい「注意」を表します。

強制 必ず実行していただく「強制」を表します。

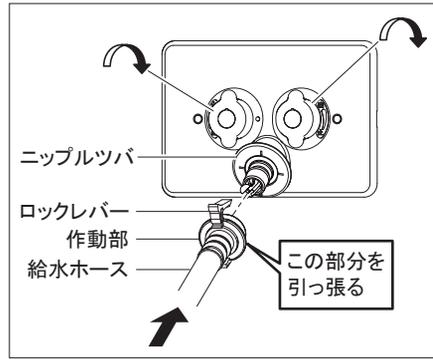
禁止 してはいけない「禁止」を表します。

使用上のご注意

禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●給湯温度は85℃以上で使用しないでください。誤った操作によるやけどを防止するため、給湯温度は60℃程度をおすすめします。 ●また、洗濯機に給湯する場合は洗濯機の上限温度に注意してください。 ●製品を分解したり、改造したりしないでください。製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。
注意	<ul style="list-style-type: none"> ●湯側ハンドルのみを開く場合、高温の湯がそのまま出ます。取扱いには十分注意してください。 ●小さいお子様だけのご使用は避けてください。やけど、ケガをする恐れがあります。 ●他所の水栓を同時使用されると、やけどの恐れがありますので注意してください。同時使用により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ●ご使用の前に、必ず適温であることを確認してください。高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。 ●ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。 ●湯をご使用の際は、水側ハンドルから開栓してください。その後ゆっくり湯側ハンドルを開栓し、お好みの温度に調節してください。湯側ハンドルを先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。 ●湯をご使用後は、必ず水側ハンドルを開栓し、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際に、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。 ●洗濯機用給水ホースは必ず日本電気工業会(JEM1206)の規格製品を使用してください。規格外の製品を使用すると漏水の原因となります。 ●洗濯機用給水ホースを接続する際は必ず水栓のハンドルを閉じ、吐水口内の圧力を抜いてから接続してください。 ●洗濯機を使用しない時は必ず水栓のハンドルを閉じてください。 ●洗濯機用給水ホースを接続する際は正しく給水ホースを吐水口に直接挿入してください。強引な挿入や他の部材を使用した接続は吐水口が破損し漏水の原因となります。 ●凍結が予想される場合は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください(寒冷地仕様)。凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。 ●長期間使用しないときは配管部の元栓を閉めてください。 ●定期的に給水ホースやハンドルのまわりの漏水、ガタつきがないか確認してください。

使用方法

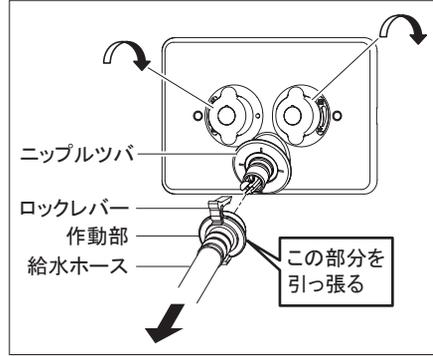
●給水ホースの着脱方法 (取付方法)



水・湯のハンドルが「止水」の位置にあることを確認します。次に給水ホースの作動部を引っ張りながら、ニップルにカチッと音がするまではめ込み、ロックレバーがニップルツバにかかっていることを確認します。

注意 給水ホースはカチッと音が出るまで差込んでください。

(取外し方法)



水・湯のハンドルが「止水」の位置にあることを確認します。次にロックレバーを吐水口のニップルツバから外してから、作動部を引っ張りながら取外します。

注意 給水ホースは必ずハンドルで止水してから取外してください。漏水により、家財に損害を与える恐れがあります。

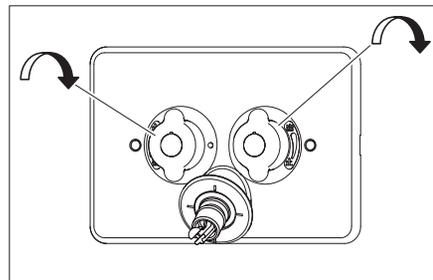
●自動閉止機構について

万が一通水中に洗濯機用給水ホースが外れた場合には、吐水口に内蔵された自動閉止機構が作動し、水が漏れない構造になっています。再度、洗濯機用給水ホースを接続する場合は「●自動閉止機構の解除方法」に従って解除を行ってください。また、洗濯機用給水ホースを接続せずに水栓のハンドルを開けた場合にも同様の作業を行ってください。

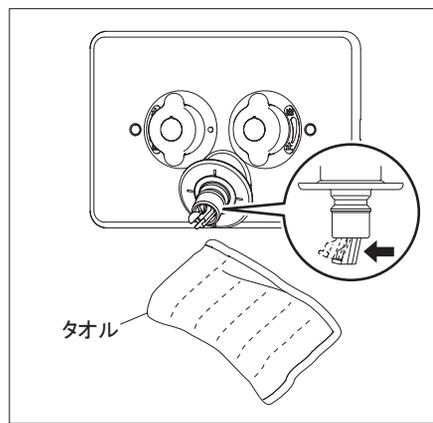
自動閉止機構の水栓器具のため洗濯機用給水ホースを接続しないと通水されません。

●自動閉止機構の解除方法

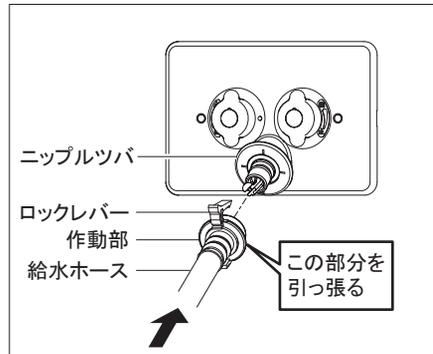
* 吐水口に溜まった水がこぼれますのでタオルなどを用意して作業をしてください。



①ハンドルを右に回して閉じます。



②タオルなどをそえてシャフト部を横方向に強く押して圧力が抜けるまで傾けます。圧力が抜けると少量の水が出ます。



③洗濯機用給水ホースを「●給水ホースの着脱方法」の通りに取付けてください。

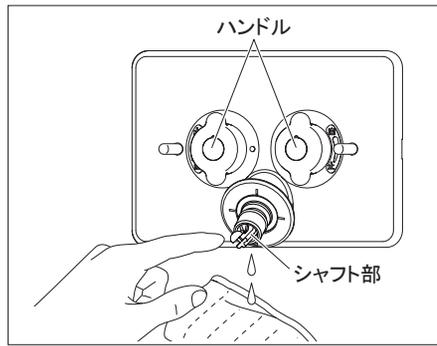
上記の方法にて解除ができない場合は、以下の手順にて解除を行ってください。

- ①元栓を閉めてから、水栓のハンドルを左に回して開きます。
- ②上記の②、③の手順を行い、水栓のハンドルを閉めてから元栓を開きます。
- ③洗濯機用給水ホースを「●給水ホースの着脱方法」の通りに取付けてください。

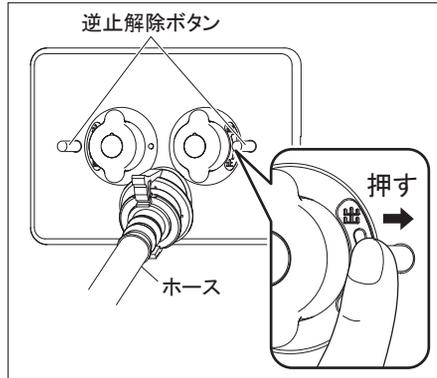
使用方法(つづき)

●寒冷地仕様の水抜き方法

凍結の恐れがある場合は、以下の方法で水抜きを行ってください。



- ①水抜き栓(不凍栓)を開きます。
- ②ハンドルを通水状態にしてホースを外し、シャフト部を数回押しして水を抜きます。

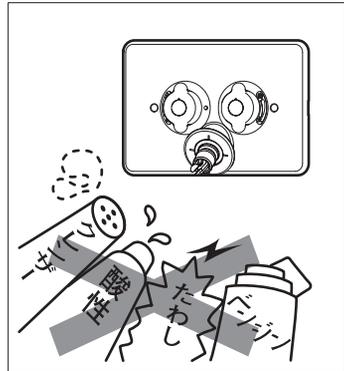


- ③湯・水両方の逆止解除ボタンを押込み、逆止弁を解除します。
- ④水抜き後、通水すると逆止解除ボタンが自動で戻り、逆止弁が作動します。

注意
水抜きされる際は、吐水口(ニップル)や逆止解除ボタンが熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますので注意してください。やけどの恐れがあります。

●器具のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために。



水栓器具の金属部は…
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。

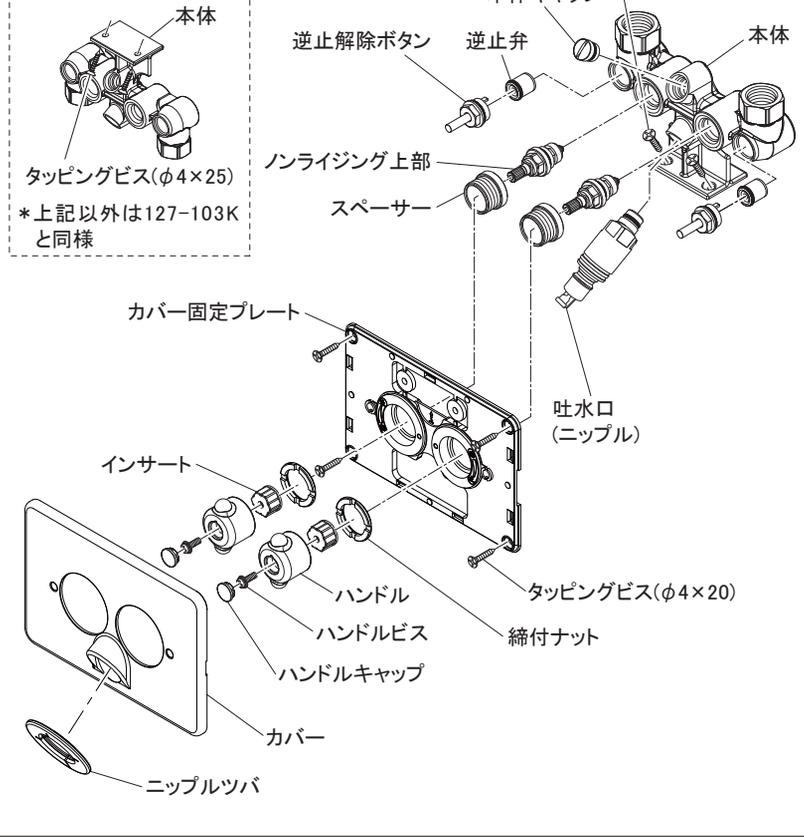
水栓器具のプラスチック部・塗装面は…
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

注意
金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

分解図(つづき)

127-103K

127-102K



* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

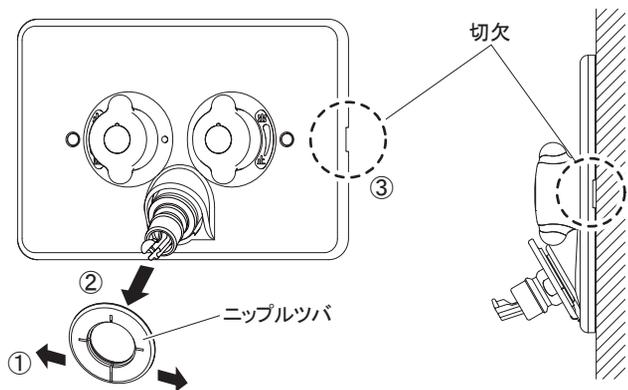
こんなときには・・・簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
水または湯が出ない	●ハンドルが吐水状態(開)になっていない ●元栓が開いていない	●ホースを取付けてから吐水状態にする ●元栓を開く
水または湯が止まらない	●止水状態(閉)になっていない	●止水状態(閉)にする
水または湯の流量が少ない	●元栓が十分に開いていない	●元栓を開き流量を調整する
ホースが取付かない	●自動閉止機構が作動している	●「●自動閉止機構の解除方法」を参照して解除してからホースを取付ける
	●ホースが規格に適合していない	●日本電気工業会規格(JEM1206)に適合した洗濯機用給水ホースをお求めください
ホースとの接続部分から水が漏れる	●吐水口(ニップル)のツバが逆向きに取付けられている	●吐水口(ニップル)のツバを取付け直す
	●ホースが正しく取付けられていない	●「●自動閉止機構の解除方法」を参照してホースを取付ける

上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。

壁裏配管の接続部を点検する時には…



- ①ニップルツバを左右に広げます。
- ②ニップルツバを手前に抜き、吐水口(ニップル)から外します。
- ③カバーの左右の切欠に「マイナスドライバー」などを差込んでカバーを持ち上げて外し、点検してください。
- ④点検後、①～③の逆の手順でカバーとニップルツバを取付け直してください。

* 上記方法でカバーを外しても接続部の確認が十分にできない場合は、カバー固定プレートも外して点検してください。

分解図

127-102

127-103

